

2024 年度自己点検評価報告書

仙台 YMCA 国際ホテル専門学校

2025 年 3 月

校長 加藤雄一

gakko@sendai-ymca.org

自己点検評価報告書

1. 学校の教育目標

仙台 YMCA 国際ホテル専門学校は、仙台 YMCA の使命に基づき、以下のように運営方針と教育目標を定めている。

- 仙台 YMCA の使命

私たち仙台 Y M C A は、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行いません。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおり、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

- 学校運営方針

仙台 Y M C A 国際ホテル専門学校は、Y M C A の理念に基づき、以下の方針を持って運営を行う。

1. 即戦力として社会のニーズに応える専門性と人間性を持った人材を育てる。(YM-ism の実践)
2. Y M C A の 4 つの価値 Caring (思いやり)、Honesty (誠実さ)、Responsibility (責任感)、Respect (尊敬心) を実践する指導者と学生になる。
3. 学習目標の明確化と目標に向かった指導内容の統一を図る。
4. 産業界との連携を強める。

5. 学生会・校友会・講師親睦会活動を活性化する。
6. 就職指導の徹底と職業意識の向上を図る。
7. 地域や世界に貢献するボランティア活動を行う。

● 教育目標

1. 人と喜びや感動を共有できるホスピタリティマインドを持つ
2. 専門分野の知識、技能の習得
3. Y M C Aの4つの価値を意識し、どんな場面でも実践する
4. コミュニティに貢献するボランティア精神の習得

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

2024年度は、新学科の充実した運営はもちろんのこと、3か年計画の2年目に挙げた目標の達成、魅力ある学校づくりによる日本人学生の増員を目指し、さらなる発展をしていくことを目標として運営を行った。

1 学生支援の強化

- (1) 一人ひとりがY M C Aの学生としての意識を持つことができる指導内容とする。
- (2) 高い目標を持ち、学生も担任も共に高めあえる雰囲気づくりと行動をする。
- (3) 教育の質を保証する働きを進める。

2 学生募集の強化

- (1) ホームページの内容を充実させる。画像や動画を盛り込んだ内容とする。
- (2) インターネットメディア、ソーシャルメディアを利用した発信を強化する。
- (3) Web 広告に取り組む
- (4) 学校訪問を徹底し、在籍生・卒業生情報はもちろんのことY M C Aとしての働きを伝えることを心がける。
- (5) 業界に対しても同様に広報し、業界との連携を強める。
- (6) 留学生獲得に向けて日本語学校との連携を強める。

3.自己点検評価

1 実施方法

- A) 評価は、校長、教員にて行った。
 B) 項目は、『専修学校における学校評価ガイドライン（平成 25 年 3 月）』に基づき行った。

2 自己評価の評価

評価は、適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1 とし、評価者の平均を四捨五入した。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価内容	評価（4～1）
理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野における職業教育の特色は何か）	YMCA の理念、教育目標、求める人材像、3つのポリシーを制定している。働きながら学ぶデュアルシステム、リーダーシップ育成プログラムを通して人材育成を図っている。	4 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	2年間で6か月のデュアルシステム。YMCAのボランティアプログラムへの参加機会がある。ネットワークを活用した職業教育を行っている。	4 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ホテル観光業をリードする人材として企画力、語学力、コミュニケーション力を強化したカリキュラムを導入している。	4 3 2 1
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	入学時点でのオリエンテーション、クラスレター、SNSを通して発信している。	4 3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	ホテル観光業界をリードする人材の育成をするため、特に企画力、語学力、コミュニケーション能力を身に着けるためのカリキュラムを導入している。	4 3 2 1

① 課題（意見）

- ・リーダーシップ育成プログラムが弱いと感じる
- ・クラスレターの発行の仕方を見直してはどうか

② 今後の改善方策

講師会、教務会議にて時代に合わせたカリキュラム検討を行っていく

③ 特記事項

特になし

(2) 学校運営

評価項目	評価内容	評価 (4～1)
目的等に沿った運営方針が策定されているか	2024 年度事業計画方針を策定し実行している	4 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	2024 年度事業方針計画を策定し実行している	4 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	理事会、評議員会が規則に基づいて機能している	4 3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	人事制度、給与規定を整備している	4 3 2 1
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	教務会議、本部事務局、運営会議等が整備されている	4 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	事業報告書の発行を行い Web サイトで公開している	4 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	事業報告書の発行を行い Web サイトで公開している	4 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	Google Workspace の導入による情報管理が進んでいる。	4 3 2 1

① 課題 (意見)

人員不足による伝達がうまく機能しないことがある

② 今後の改善方策

人員の確保と育成を早急に対応する

③ 特記事項

特になし

(3)教育活動

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（４～１）
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	カリキュラム編成方針を策定している	4 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	カリキュラム編成方針およびシラバスで明確にしている	4 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラム編成方針およびシラバスで明確にしている	4 3 2 1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	インターンシップの実施とキャリアをデザインする授業を導入している YouTube や動画ライブラリーを活用している	4 3 2 1
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	業界関係者を教育課程編成委員委員に加えカリキュラムを作成している	4 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	インターンシップを夏期 2 か月、冬期 1 か月、春期 1 か月実施している	4 3 2 1
授業評価の実施評価体制はあるか	学生による授業評価と自己評価がなされている	4 3 2 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	専門学校運営委員会に外部関係者を入れている	4 3 2 1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	シラバスにて明確になっている	4 3 2 1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	レストランサービス技能検定の項目に合わせてカリキュラムを策定している	4 3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	業界の関係者経験者を多数導入している	4 3 2 1
関連分野における業界との連携において優れた教員（本務兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	ホテルから現場職員の派遣を行っている	4 3 2 1
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	宮城県専修学校各種学校連合会の実施する研修に参加している。 日本 YMCA 専門学校担当者会に参加している	4 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	ビジネスソフトウェアや ICT 活用研修を行う。 職員研修を実施している。	4 3 2 1

① 課題（意見）

・若い講師に関わっていただく機会を増やす

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

(4)学修成果

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
就職率の向上が図られているか	ホテル業界合同説明会を学内にて開催する	4 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	国家資格対策授業を導入している	4 3 2 1
退学率の低減が図られているか	定期的に個人面談を実施している	4 3 2 1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生に関しては校友会サイトを活用している。 在校生については担任が把握している	4 3 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	卒業後のキャリアを聞き取りし、業界で必要なスキルを教育課程編成委員会等で検討	4 3 2 1

① 課題（意見）

・卒業できなかった学生が複数いた。

・HRSの取得率が低かった。

② 課題

・2年生のモチベーションの維持

・資格取得意識の向上

③ 今後の改善方策

・より深いコミュニケーションの機会を増やす

④ 特記事項

同窓会を実施し 30名ほどの参加者があった。

(5)学生支援

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
進路就職に関する支援体制は整備されているか	担当講師と教務との連携による細やかな進路指導を行っている。定期的な講師会で一人ひとりの進路状況を共有している。	4 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	教務課だけでもが情報共有し相談に乗れる体制をとっている	4 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	日本学生支援機構、テイラー奨学金を実施している他、留学生に対する奨学金を設けている	4 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	健康診断を実施している。コロナ対策を行っている。	4 3 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	課外活動を行う者に助成金制度がある	4 3 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	Wifi が自由に利用できる。 学生会館等の情報を提供している。	4 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	保護者会やニューズレターによる定期的な情報共有を行っている	4 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	卒業生の就職支援を行っている 卒業生に対しても学内メールが利用できるようにしてある。	4 3 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	リカレント教育を行っている	4 3 2 1
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	高校に働き掛け 1 校以上実施している	4 3 2 1

① 課題（意見）

- ・社会人ニーズの把握と企画力
- ・学生会の活性化

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	Wifi 環境、教室備品が充実している。	4 3 2 1
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	インターンシップ制度が整備されている。	4 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	安否確認システム、緊急連絡網、安全対策室が設置されている	4 3 2 1

① 課題（意見）

・授業備品の更新を定期的実施すべき

② 今後の改善方法

・備品の点検と補充を実施する

・海外研修を復活させる

③ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
学生募集活動は,適正に行われているか	過剰な広告などを実施していない	4 3 2 1
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか	就職内定情報は常に正しい情報を公開している	4 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	他校に比較して妥当な設定となっている	4 3 2 1

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・Web 願書受付システムを導入する

- ③ 特記事項
特になし

(8)財務

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	定員を確保できている	4 3 2 1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	学校法人全体で改善策を検討実施している。	4 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	会計監査は毎年実施している	4 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	Web サイトで公開している	4 3 2 1

- ① 課題（意見）
- ・計画的な支払いができない学生がいる
 - ・ホテル科・国際ビジネス科の定員確保
- ② 今後の改善方策
- ・郵便振替制度を導入する
- ③ 特記事項
特になし

(9)法令等の遵守

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	設置基準に即した運営を行っている	4 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護方針に従い管理している	4 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己評価は毎年行い、改善があれば実施している	4 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	公開している	4 3 2 1

- ① 課題
・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

特になし

(10) 社会貢献地域貢献

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	実習室にて講習会等を実施している 教室を利用した講習会を実施している	4 3 2 1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	ボランティア活動が単位として認められている	4 3 2 1
地域に対する公開講座教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	受託にチャレンジする	4 3 2 1

① 課題

・魅力あるカリキュラムの開発

② 今後の改善方策

・魅力あるカリキュラムの開発

③ 特記事項

(11) 国際交流

評価項目	現状、計画、評価基準	評価（4～1）
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	公益財団法人やワイズメンズクラブと協力した国際交流を行う	4 3 2 1
受入れ派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	担当者を配置して実施している	4 3 2 1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	在籍生が活躍する様子が SNS 等で発信されている	4 3 2 1
学内で適切な体制が整備されているか	交流プログラム担当者を配置している	4 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

・海外への情報発信方法の模索

③ 特記事項

特になし